

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 10 号

神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市

神原中小中一貫教育Gでは、9月14日に第2回の小中合同授業研究会を壺屋小で行いました。

壺屋小は、過去3年間、体育科を中心に評価の研究を行ってきたので、その成果を各教科に波及させることを目指して、各学年+特別支援学級の7つの授業公開を行いました。

公開授業研は、「児童の学びと育ちを見取り、授業について語り合い、授業実践に生かす」をテーマに濃密な協議が行われました。

今号では、壺屋小学校の授業の様子を写真で紹介します。また、授業研究会後の校長・教頭の感想・指導助言を一部掲載しています。お読みください。

写真で見る授業の様子

1年・図工(授業者・泉 史恵先生)



1年生も学習スタイルが定着していてイイね!

2年・算数(授業者・瑞慶山侑輝先生)



積極的に意見を述べている子供たちステキだね!

3年・国語(授業者・與那 梓先生)



友達の説明を聞いて考えをまとめている子供たちすごいね!

4年・社会(授業者・大城 敬子先生)



集中して先生の説明を聞いている子供たちグーだね!

5年・道徳(授業者・伊佐布季子先生)



「自由」について考えている子供たち。利他の心を持っているね!

6年体育(授業者・小松 芳先生)



台上前転を着地まで成功したよ。高得点だね!

スマイル・自立活動(授業者 石川巴美・伊山加奈子先生)



チャレンジ前に集中し、ポーズを取っている子供グットだね!



先生と話し合っ
て作戦を立てているのかな? ファイト!

校長・教頭の講評・指導助言から抜粋掲載

- ◎各学年、教科の授業が参観できたことや参加者全員が十分意見交換できて良かった。
- ◎何を身につけさせたいのかを明確にすることが大事だと感じた。
- ◎子供たちの学習規律がすばらしく、タブレットの操作もスムーズで授業が円滑に進んでいた。
- ◎どうしてそう考えるのか?という根拠を聞くことが教師の仕事。根拠を言葉で表現できることが大事。
- ◎自立活動の内容が学校全体で実践できること。通常学級にも困り感があるので、朝のすき間時間等で自立活動の時間を確保すること。

～神原小の実践～教科担任制と専科制を導入! 文責・勢頭・菅間

神原小では、今年度から教科担任制に取り組み、1組の勢頭先生が算数科を、2組の菅間先生が国語科の授業を行っている。その取り組みの最大の良さは、深い教材研究ができることである。教材研究を行う教科が1科目減ったことで、教材研究にかかる時間の確保ができた。そして、複数回同じ授業を行うことで、充実した授業展開ができ、子どもが満足できる授業を提供できる。

その結果、子ども達が生き生きと活動することになり、学級や学年が落ち着くようになった。また、クラス間の意見を共有することができ、いい意味でクラス間の競い合いが生まれた。さらに、1人の教師が両方のクラスを担当することで、校内で統一されている学習規律についても、整いやすくなった。

さらに、理科、音楽科に加え、今年度から体育科と英語科が専科となった。その結果、より多くの教師の目で子どもを見守り、課題のある児童への対応法を複数の先生方と検討し、実践することができた。また、相性の良い先生が寄り添い、話を聴くことで子ども達の安心感が生まれた。

課題は、複数の先生方が関わることで、困り感の共有の仕方に時間がかかっている。また、各教科の課題について未提出の児童把握やその課題に対応する時間の確保が困難になっている。年度初めに児童理解の時間を設けたり、月1回でも専科の先生方との困り感の共有を行う場の設定が必要だと感じている。